



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社

コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 延廣 徹

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 06-6209-8500

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,507	6.6	1,134	47.0	1,424	106.3	867	623.3
25年3月期第2四半期	33,311	△8.2	771	△36.6	690	△44.4	119	△81.4

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 2,624百万円 (961.9%) 25年3月期第2四半期 247百万円 (△78.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	43.06	—
25年3月期第2四半期	5.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	77,808		42,542		52.7
25年3月期	78,372		40,109		49.6

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 41,041百万円 25年3月期 38,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	10.6	2,400	27.7	2,500	29.2	1,300	32.3	64.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 梧州荒川化学工業有限公司
 (注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	20,150,400 株	25年3月期	20,150,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	12,014 株	25年3月期	11,846 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	20,138,476 株	25年3月期2Q	20,138,634 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心とする先進国では回復の兆しが見え始めたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速により、弱い成長に留まりました。一方、国内経済はデフレ脱却に向けた金融緩和政策に期待が寄せられ、株高・円安が進み、個人消費や輸出・生産の増加、輸出採算の改善などの兆候がみられましたが、円安・原油高によるコスト上昇が製造業・素材業種の懸念要因となっております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、今年度よりスタートしました第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や、事業開発の促進に注力してまいりました。また、ロジンをはじめとする原材料価格の上昇が、収益圧迫の要因となっており、製品価格の改定や、経費削減に努めております。そのような状況下、海外での収益拡大が寄与し、利益面では前年同期を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は355億7百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益は11億34百万円（同47.0%増）、経常利益は為替差益の影響もあり、14億24百万円（同106.3%増）、四半期純利益は8億67百万円（同623.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、印刷・情報用紙や段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では中国を中心としたアジア地域における拡販が寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は96億49百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は5億21百万円（同22.6%増）となりました。

<化成品事業>

国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、印刷インキ用樹脂の販売が堅調に推移しました。また、粘着・接着剤用樹脂が欧州、アジア地域で伸張し、売上高は195億67百万円（前年同期比6.9%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格上昇による収益圧迫もありますが、超淡色ロジン製造設備の減価償却費減少や円安効果等により、5億80百万円（同363.2%増）となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、薄型テレビやノートパソコンの需要低迷が続くなか、スマートフォンが好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、タブレット端末への移行により、ノートパソコン向けの製品が振るわない一方で、スマートフォン関連用途向け光硬化型樹脂、電子材料用配合製品は堅調に推移し、売上高は61億44百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は前年同期の損失から黒字転換し20百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億63百万円減少し、778億8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が10億81百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が20億74百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ29億96百万円減少し、352億66百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が13億87百万円、短期借入金が6億19百万円減少したことによります。

純資産は、利益剰余金および為替換算調整勘定等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ24億33百万円増加し、425億42百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億81百万円増加し、79億83百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、34億87百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益(14億19百万円)、減価償却費(14億23百万円)、売上債権の減少(28億47百万円)およびたな卸資産の減少(11億55百万円)などにより資金が増加した一方、仕入債務の減少(17億46百万円)などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億23百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出(10億73百万円)が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億10百万円の減少となりました。これは、借入金の減少(15億6百万円)および配当金の支払(2億31百万円)が主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成25年5月7日に公表しました業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった梧州荒川化学工業有限公司は、当社の連結子会社である広西梧州荒川化学工業有限公司に吸収合併されたため、消滅いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

連続プラントにおいて、定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,993	8,075
受取手形及び売掛金	27,121	25,047
商品及び製品	7,216	7,088
仕掛品	907	961
原材料及び貯蔵品	6,862	6,381
繰延税金資産	778	618
その他	886	1,203
貸倒引当金	△131	△147
流動資産合計	50,636	49,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,123	8,092
機械装置及び運搬具(純額)	7,907	8,152
土地	4,710	4,775
建設仮勘定	286	270
その他(純額)	353	333
有形固定資産合計	21,381	21,624
無形固定資産		
のれん	162	150
その他	615	603
無形固定資産合計	777	753
投資その他の資産		
投資有価証券	4,783	5,411
繰延税金資産	217	213
その他	580	582
貸倒引当金	△4	△7
投資その他の資産合計	5,577	6,200
固定資産合計	27,735	28,579
資産合計	78,372	77,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,478	11,090
短期借入金	11,581	10,962
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	288	209
未払消費税等	329	66
賞与引当金	870	923
役員賞与引当金	38	18
修繕引当金	113	14
設備関係支払手形	43	56
その他	3,081	2,573
流動負債合計	33,825	30,916
固定負債		
長期借入金	1,825	1,553
繰延税金負債	470	760
退職給付引当金	1,783	1,626
修繕引当金	—	12
資産除去債務	86	87
その他	270	310
固定負債合計	4,437	4,349
負債合計	38,262	35,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	31,585	32,220
自己株式	△11	△11
株主資本合計	38,052	38,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,089	1,480
為替換算調整勘定	△253	873
その他の包括利益累計額合計	836	2,353
新株予約権	—	27
少数株主持分	1,220	1,473
純資産合計	40,109	42,542
負債純資産合計	78,372	77,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	33,311	35,507
売上原価	27,087	28,672
売上総利益	6,224	6,835
販売費及び一般管理費	5,452	5,700
営業利益	771	1,134
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	59	62
不動産賃貸料	58	58
為替差益	—	197
操業補償金	50	—
その他	75	127
営業外収益合計	247	450
営業外費用		
支払利息	144	127
持分法による投資損失	0	6
為替差損	29	—
操業休止関連費用	133	—
その他	21	27
営業外費用合計	329	160
経常利益	690	1,424
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	12	6
投資有価証券評価損	372	—
特別損失合計	384	6
税金等調整前四半期純利益	306	1,419
法人税、住民税及び事業税	201	243
法人税等調整額	△51	228
法人税等合計	149	472
少数株主損益調整前四半期純利益	156	946
少数株主利益	36	79
四半期純利益	119	867

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	156	946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△130	390
為替換算調整勘定	228	1,277
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	9
その他の包括利益合計	90	1,677
四半期包括利益	247	2,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178	2,384
少数株主に係る四半期包括利益	68	239

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	306	1,419
減価償却費	1,650	1,423
のれん償却額	22	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10	11
賞与引当金の増減額(△は減少)	102	49
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19	△20
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△89	△165
投資有価証券評価損益(△は益)	372	—
固定資産除売却損益(△は益)	11	5
受取利息及び受取配当金	△64	△66
支払利息	144	127
持分法による投資損益(△は益)	0	6
売上債権の増減額(△は増加)	763	2,847
たな卸資産の増減額(△は増加)	122	1,155
仕入債務の増減額(△は減少)	△497	△1,746
その他	532	△1,200
小計	3,368	3,874
利息及び配当金の受取額	65	65
利息の支払額	△154	△119
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	11	△332
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,291	3,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,542	△1,071
有形固定資産の売却による収入	126	78
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
無形固定資産の取得による支出	△97	△1
関係会社出資金の払込による支出	△247	—
のれんの取得による支出	△30	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△4	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,807	△1,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△943	△1,104
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△392	△401
新株予約権の発行による収入	—	27
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△231	△231
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,467	△1,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45	1,081
現金及び現金同等物の期首残高	5,577	6,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,623	7,983

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,791	18,304	6,071	33,167	144	33,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39	—	39	12	51
計	8,791	18,343	6,071	33,206	156	33,363
セグメント利益又は損失(△)	425	125	△2	548	1	549

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	548
「その他」の区分の利益	1
全社費用の配賦差額(注)1	298
営業外損益(注)2	△76
四半期連結損益計算書の営業利益	771

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,649	19,567	6,144	35,361	145	35,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	48	—	48	23	71
計	9,649	19,615	6,144	35,410	169	35,579
セグメント利益	521	580	20	1,122	4	1,126

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,122
「その他」の区分の利益	4
全社費用の配賦差額(注)1	120
営業外損益(注)2	△112
四半期連結損益計算書の営業利益	1,134

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、事業セグメント区分方法を見直し、従来の「化成品」と「電子材料」に所属する一部製品(機能性ファインケミカル製品等)の報告セグメントを変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

「製紙薬品事業」…… サイズ剤、紙力増強剤、塗工紙用薬品等

「化成品事業」…… 印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、超淡色ロジン、機能性ファインケミカル製品等

「電子材料事業」…… 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、精密部品洗浄剤および洗浄装置等